

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	運営主体が調剤薬局であるという特性を活かしながら、地域密着型サービスとしての独自の理念を作り上げた。また、地域の中の住民であり、一家族である事を理解していただけるよう挨拶・声掛けを心掛けている。		
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念に沿った介護が行えるよう全職員に対し、毎日のミーティング・月1回のカンファレンスの中で理念を話し合い、共有している。		
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	玄関の一番目に付くところに掲示し、ご家族並びに訪問者に明示している。地域に向けては、年2回の広報誌により情報を発信している。		
2. 地域との支えあい				
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩や外出の際、顔を合わせれば気軽に挨拶を交わしており、ご近所の方から庭に咲いた花を頂いたりすることもある。		
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域主催の老人会や夏祭りなどに参加し、当ホーム主催のバザーや餅つき大会にも地域の方々に参加して頂いている。また、去年のクリスマス会では近くの保育園の園児を招き、歌や踊りを披露していただいた。		地域や周囲の店舗等をもっと利用して、当施設・利用者の存在を知っていただく機会を増やしていきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	運営推進会議で民生委員の方の相談を受けたり、当ホームの広報誌を通して地域の方々の相談を受ける場を設けている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価の結果はミーティングで報告し、改善に向け意見交換を行い実践につなげる努力をしている。また、自己評価を行うことで改めて初心に戻り、利用者と向き合うよう努めている。		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議ではヒヤリハットや利用者状況を報告している。外部評価後は評価結果及びそれを踏まえ、現在取り組んでいる内容について報告した上で意見を出していただき、サービスの向上に活かしている。		
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当者とは窓口を訪問したり、電話をするなどして、連絡を密に取り、お互い情報交換を行っている。		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	研修には積極的に参加しているが、ご家族の支援体制がきちんとしていないこともあり、特に説明などはしていない。		勉強会を開き、今後も全職員が権利擁護に関する知識を深める努力をしていきたい。
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ニュースなどで自宅や介護施設において虐待が起こっていることは知っているが、高齢者虐待防止法などについての勉強会などは行っていない。職員は常に自己の言動に注意を払い、管理者は見守りに努めている。		日常生活の中で、言葉の虐待になっていないか、など学ぶ機会を設けていきたい。また、研修会や勉強会で【高齢者虐待防止関連法】に取り組んでいきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>利用者やご家族の要望や不安に配慮し、納得されるまで十分に説明を行っている。現在契約に関する苦情などは出ていない。</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>自分の思いを表現できる方の意見や不満はもちろん、表現出来ない方の思いもくみ取る努力をしている。利用者からの訴え等はその都度管理者へ報告し、職員で話し合い、方向性を決定したうえで統一したケアに努めている。</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面会時や電話などで必ず日常の暮らしぶりや健康状態などを報告している。特に、健康状態の変化は、ご家族に必ず報告するよう心掛けている。また、毎月《陽だまり通信》を発行し、定期的な近況報告も行っている。</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>気軽に意見を言っていたりするような雰囲気作りに努めている。また、玄関にも公的な相談窓口のポスターを掲示し、説明も行っている。</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>管理者は常に職員と意見交換を行えるよう努めている。また、管理者は、職員の意見や提案を運営者へ報告するよう心掛けている。</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>常に入居者全員にケアが行き渡るよう職員を配置している。柔軟な対応が必要とされる場合は職員と話し合ったうえで対応している。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>各ユニットの職員を固定化し、馴染みの関係が築けるよう配慮している。新職員が配属された場合は、利用者との信頼関係がより早く構築できるよう、支援している。</p>		
5. 人材の育成と支援				
19	<p>人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p>	<p>職員の雇用条件は、年齢・性別平等である。また、職員の自由な発想を大事にして、一人一人の得意分野を活かし、自己実現に向けた取り組みを行っている。常に「生き生きと楽しく」を心掛けている。</p>		
20	<p>人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p>	<p>常に話し合いの場において、利用者は一人の人間であり、家族の一員であることを職員で再確認している。それを踏まえて、一人一人の人格を尊重したケアを行うよう、努めている。</p>		
21	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>福岡県高齢者グループホーム協議会に加入し、出来るだけ多くの研修に参加する機会を作っている。また、新人職員に対しては、指導者をマンツーマンで付け、利用者への対応の仕方・介護への取り組む姿勢等を指導している。</p>		<p>今年度より研修の年間計画を立てており、3ヶ月ごとに法人内で研修を行っていくことを決定している。</p>
22	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>福岡県グループホーム協議会に加入しており、同業者との交流の機会が多い。管理者同士での情報交換も積極的に行っている。</p>		
23	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>運営者は、月1回の管理者会議により管理者の意見を積極的に取り入れ、職員の働きやすさにつなげている。有給休暇等も確保されており、職員のストレス軽減の環境が整備されている。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>管理者に業務日報の提出を義務付け、努力や実績を出した職員を把握・評価している。</p>		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
25	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>事前の訪問面談により、本人自身と十分に話をし、生活環境などの情報収集を行い、本人に対する理解を深める努力をしている。</p>		
26	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>ご家族の話しをじっくり聞くことで、ご家族の求めていることを理解する努力をしている。</p>		
27	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人とご家族のニーズを見極め、最も適したサービスを提供するよう対応している。</p>		
28	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>ご家族と共に本人にも出来る限り見学に来ていただくようにし、他の利用者とコミュニケーションをとる機会を作るようにしている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
29	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>お互いに人として尊重し、支えあいながら生活し、調理や園芸など、利用者に教えてもらう場面作りにも努めている。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	こまめに情報交換を行い、ご家族と同じ思いで本人を支えていく関係作りに努めている。また、面会時に一緒に写真を見てエピソードをお話したり、生活ぶりをお伝えしたりすることを心掛けている。		
31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご家族の利用者への思い、利用者のご家族への思い、それぞれを受け止め、より良い関係作りを支援している。		
32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族の協力をいただきながら、電話のやり取りや面会などの支援をしている。また、ご家族以外の面会においても(利用者にとって大切な方)との認識で対応している。		
33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	職員全員が利用者同士の関係や起こりやすいトラブルなどを把握し、円滑に生活できるよう支援している。食事やお茶の時間に楽しく過ごせるようスタッフも同じテーブルにつき、橋渡しをしている。全員で外出する機会も設けている。		
34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退去されても退去先を訪問したり、ご家族の相談を受けたりしている。縁があって生活を共にしてきた方々という思いで大切にしている。		
<p>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1. 一人ひとりの把握</p>				
35	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々一緒に過ごしなが、本人の希望や意向の把握に努めている。ご家族からも意見を聞き検討している。意向を表現出来ない方については、行動や表情からくみ取るように努めている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前にサービス事業所等より、情報収集を行っている。訪問面談やご家族からの生活歴を提出していただき、把握に努めている。		
37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	毎日のミーティングで個々の状態や変化を把握し、職員で情報の共有に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
38	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人・ご家族と話し合い、個々のニーズに応じて介護計画を作成している。介護計画については、カンファレンスやミーティングにおいて全員統一した対応が出来るよう、周知徹底に努めている。		ケアカンファレンスに本人・ご家族にも参加していただけるような環境作りを行いたい、まだまだ取り組めていない。
39	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	対応できない変化が生じた場合は、現状に即した計画を作成するようにしている。		
40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の利用者の状況は、詳細に個別記録へ記入し、職員が情報を共有している。また、実践を通しながら、介護計画の見直しに活かす努力をしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	グループホームのみの運営である。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	運営推進会議を通して地域の方々には協力をいただいている。		
43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	利用者の希望や体調に応じて、訪問理美容・訪問歯科を利用している。		
44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現在のところそのような事例はない。		本人の意向や必要性に応じ、地域包括支援センターと協力していく。
45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	施設の主治医が月2回定期往診を行っている。また、本人やご家族の希望に沿った受診も支援している。		
46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	主治医は認知症に関する知識も豊富なため、相談し、助言を受けている。必要があれば専門医の受診も行っている。		
47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護職員を配置し、介護職と協働しながら、利用者の健康管理に努めている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>面会を頻繁に行い、本人の状態やご家族の意向を確認したうえで、病院関係者とも相談しながら、早期退院に向けた支援を行っている。同時に、退院後の環境整備にも力を入れている。</p>		
49	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>一人一人が重度化していくことを踏まえ、本人やご家族と話し合い、主治医とも相談を重ね、今後の方向性を決定している。また、日々のミーティングで情報の共有に努めている。</p>		
50	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>利用者の重度化に伴い、ご家族の意向を考慮し、主治医と連携しながら施設で出来るケアについて説明している。また、ミーティングでその都度話し合い、状態に応じたケアを提供している。</p>		
51	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>本人やご家族の意向を踏まえ、ケア関係者間で情報交換を行い、少しでもダメージが少なくなるよう努めている。</p>		
<p>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>				
52	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>毎日のミーティングで利用者に対する対応や言葉使いについて注意を促している。記録等は、常時管理室にて保管されており、取扱には十分配慮している。</p>		<p>排泄誘導時の声掛けなど常に注意するよう、さらに努めていく。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	利用者の理解力に応じて声掛けを工夫し、本人の意向を引き出せるよう努めている。毎月の食事会のメニューやお誕生会の献立を自分で決めてもらうなど自己決定の場を設けている。		
54	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の気分や状態に応じて、ゆっくり過ごしたい時はゆっくりしていただくなど、一人一人のペースを大切にしている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	食事会や外出の際には、その人らしい外出着への装いを支援している。		
56	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者は食事をとても楽しみにされており、職員は楽しい雰囲気作りに努めている。準備や片付けも一緒に行うようにしている。		
57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	利用者の嗜好を理解し、状況に応じて楽しめるよう努めている。食後にコーヒーをお出ししたり、おやつを希望を尋ねて、手作りしたりしている。		
58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表を作成し、一人一人の排泄パターンを把握するよう努めている。介助拒否ある方には、気持ちよく排泄出来るよう、声掛けを工夫している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日入浴をして頂いている。ローテーションの都合で午後からの入浴となっているが、一人一人ゆっくりと入浴出来ている。入浴拒否の場合は下半身浴や足浴等の提供を行っている。		
60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	生活のリズムを整えるため日中の活動を促すことに取り組んでいる。また、状況に応じて昼寝を促すよう努めている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人一人の得意なことや、楽しみにしていることを職員は把握している。職員と一緒に出来る仕事をしたり、ゲームをしたりするなど日常生活にメリハリをつけるよう心掛けている。		
62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入居時に本人・ご家族に対してお小遣いとして施設で管理することを説明し、納得していただいている。外出時等には利用者の意向に応じてお金が使えるよう支援している。		
63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の意向を尊重し、買物や散歩等可能な限り実現出来るように努めている。季節を肌で感じていただくことを大切にしている。		
64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	カラオケ・買物・食事など利用者の趣味や能力に応じて、個別に外出する機会をつくっている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者の希望がある場合、管理室の電話を使用して頂いている。また、子機を利用して居室でゆっくりとお話できるように努めている。		
66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	職員はいつでも笑顔でお迎えしており、気軽に訪問していただける雰囲気作りを心掛けている。訪問時は居室でゆっくりとくつろいでいただけるように努めている。		
(4) 安心と安全を支える支援				
67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員は身体拘束について正しく理解しており、身体拘束は行っていない。		さらに理解を深めることが出来るよう、勉強会の課題にしたい。
68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵はかけていない。職員は、外出傾向の把握に努めており、利用者の意思を尊重し、一緒に外出するようにしている。		
69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員は常に利用者の所在確認をしており、常時食堂に待機し、安全に配慮している。		
70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	利用者の状態を職員は把握し、ミーティングで意見を交わしながら、危険を防ぐ取り組みをしている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	毎日のミーティングにおいて、利用者の状態に応じて、事故を防ぐことに努めている。また、職員間で情報の共有に努め、喚起を促している。ヒヤリハット報告を作成し、再発防止に取り組んでいる。		
72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	職員は救命講習を受けている。また、日頃より看護師やベテランの職員が情報を伝達するよう努めている。		
73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	利用者や職員、全員で避難訓練を行い、災害時の避難方法を再確認している。また、運営推進会議で地域の方々に災害時の協力を要請している。		夜間の対応についても訓練を繰り返していきたい。
74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	入居前に施設の方針を理解していただいたうえで、考えられるリスクと対応策についても説明している。状態変化とともに起こりえるリスクについてもその都度説明している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	日常の状態を常に把握し、異常の早期発見と早期対応を行うよう心掛けている。異常を発見した場合は、個別記録に記載するとともに、職員全員で把握し、常に変化を見逃さない体制作りを心掛けている。		
76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人記録にお薬情報をファイルし、職員は常に確認している。服薬後の状態変化も常に観察し、異常があればすぐに主治医に報告をしている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	利用者一人一人の排泄パターンを把握し、乳製品の摂取を促したり、水分や食事の内容にも気を配っている。毎日適度な運動を心掛け、腹部マッサージも行っている。		
78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後必ず口腔ケアを行っている。口腔ケアが出来ない方には、職員手作りの口腔ケア道具を用いるなど、工夫している。		
79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量は毎食ごとに記録している。食事・間食・外出後や入浴後など水分補給を心掛けている。お茶だけでなく、コーヒーやカルピスなど個人の嗜好に合わせている。		
80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	対応マニュアルを作成し、外出後・食事前には、うがいや手洗いを行うよう支援している。インフルエンザの予防接種は、毎年、利用者・職員全員受けている。		
81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	ふきん・まな板などは、毎回消毒し、冷蔵庫の中も点検している。常に新鮮な食材を使用し、食中毒予防に心掛けている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	花を植えたり、ベンチを置いたりして、あたたかで親しみやすい雰囲気を作っている。毎日掃除を欠かさず、清潔であるよう努めている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の手工芸作品や季節のもの、写真や花などを飾り、明るく居心地の良い空間作りに努めている。生活感や季節感を大切にしている。		
84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファでテレビや新聞を見られたり、食卓で利用者同士で談話されたりして、寛げるよう配慮している。		
85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	今まで使い慣れた家具やお気に入りの物・家族の写真・思い出の品などを持ち込まれ、本人が居心地のよい居室となっている。		
86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	こまめに居室を訪れ、利用者の状況を考えながら、温度調整・換気を行っている。共用部分の換気についても気を配っている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下・トイレ・浴室など要所要所に適宜手すりを配置している。床にはコルク材を使用しているためクッションの役目を果たしており、転倒した場合も出来るだけダメージが少ないように工夫している。		
88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	利用者の個々の状況や状態に応じた支援をしている。利用者の混乱を防止するためにスタッフの対応を統一している。		
89	建物の外周や空間の活用 建物の外周やベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	狭いながらも花や野菜を植えて、水遣りなどして楽しんでいただけるよう努めている。		

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
100	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)